



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 10. 9

3, 4年生用 No.48



「喜びを目標に変え頑張らせて欲しい」

先日ある企業の人事の方が試験の結果を電話で伝えてくれた折次の様なお話をされました。

「合格したということで浮かれた気持ちで4月まで遊びほおけてもらっては困ります。今は会社が厳しい時代です。そうした本を読んだり新聞を読んだりして欲しい。今回合格できたという喜びを目標に変えて頑張らせて欲しい。危険物乙4や日商簿記3級等資格を取ってきて欲しい。」

周囲の落ち込んだ友人を尻目に、一部の合格した生徒が、たがが緩み始めている姿が見え始めています。今年のような厳しい就職戦線の中で合格できた者にとっては、ほっと一安心かもしれませんが、入社後きちんと仕事をマスターして会社に十分貢献出来るようになる為にも、もっと**基礎学力や社会常識を付けておくことが必要**でしょう。一次試験で合格した人は簡単に合格できたような気持ちになると、すぐ会社を辞めたりし大怪我のもと。一次試験でうまくいかなかった人の方が後で合格の喜びをかみしめしっかり仕事に就く可能性もあります。希望する会社に合格するというのは君達の当面の目標であったかもしれませんが、その先の自分の目標は何かを早く見定め、新たな目標に向かって頑張らせて欲しいものです。一つのことに満足しては人間進歩は望めません。



二次に向けて

二次募集の情報を来たところから順次流していますが、なかなか手を上げる人が少ない状況です。確かに自分の気に入ったものが少ないかもしれませんが、気の進まないところに無理をしてまで行けとは言いませんが、**多少なりとも興味のある企業は、まず見学に行って判断した方がよい**でしょう。自分の目で見て判断しないと分からないことが少なくありません。見学に行ったから必ず行かなくてはいけなわけではありません。

もしどうしても気に入ったものが無ければもう少し待つのも良いでしょう。しかしそんなに皆さんが期待するような大きな企業はもう出ないでしょう。**どこで妥協するかはそれぞれの判断のしどころです。あまり先送りすると求人企業が出てこなくなる危険性も高まります。**

勝負とは不思議なもので
勝って力を落とす者もいたし、
負けて一段と力を得る者もいた。

(密命・相剋—陸奥巴波、佐伯泰英)

【コメント】

勝つことも、負けることも、次につなげるかどうかは、人それぞれの問題。なにがなんでも、とりあえず勝てばいい、という気持ちで挑んだ時は、勝ってしまえば、そこで終わり、何も学ばないで通りすぎちゃっている。

一方、負けた者は、次は負けないぞっていう決心で、その勝負を振り返り、すぐに準備や鍛錬をスタートしていたりする。負けて初めて、また、やる気になるか、それとも、あきらめたり、次にチャレンジすることを探すか。

勝って力を落とすより、負けても力を付けるものになりたい。

進